

作成日：令和2年12月6日

## 第2回 高松圏域自立支援協議会 災害時ワーキンググループ議事録

日付	令和2年12月9日(水)
時間	13:30~14:45
開催会場	高松市社会福祉協議会 西館2階小会議室
参加機関等	高松訪問看護ステーション、在宅療養ネットワーク、高松赤十字病院、支援センターこがも、高松市健康づくり推進課、高松市社会福祉協議会、高松障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計12名

### 議題1：事務局を中心に検討したアクションプランの共有

議事	<p>アクションプランを3期に分けて作成</p> <p><b>【第1ステージ】</b> 令和2年2月~8月</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高松圏域の災害時に電源が必要な医ケア児、者について情報収集を行うと同時に、非常時用電源と呼吸器等との相性について調査する。</li><li>・健康づくり推進課と相談支援事業所の協力を得て。対象者の居住地域、必要な医ケアの内容、同居家族の有無、医療機器(メーカー、型番)、非常用電源の確保の有無と確保可能な時間帯について調査する。</li></ul> <p><b>【第2ステージ】</b> 令和2年9月~令和3年3月</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第1ステージの結果を元にモデル地区を定め、具体的に災害時のプランを作成し、関係者間で共有できる仕組みを作る。</li></ul> <p><b>【第3ステージ】</b> 令和3年4月~</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地区の取り組みを高松圏域内に広める。</li></ul>
----	---

## 議題 2：アンケート結果の共有とモデルケースの選定

議事	<p>○モデルケース選定のためのアンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・健康づくり推進課、訪問看護ステーション、相談支援事業所の協力を得て、アンケートを実施し令和2年9月に集計をおこなった。</li><li>・有効回答数 98 件のうち、64 歳以下の対象者は 35 件だったが、高松市避難行動要支援者名簿と災害時要援護者票のいずれにも登録が無いケースは 19 件（54%）だった。</li><li>・次にあげる 4 点をモデルケースの選定案をしたい。</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>① 64 歳以下である。</li><li>② 高松市避難行動要支援者名簿と災害時要援護者票のいずれにも登録が無い。</li><li>③ 災害時プランの作成を希望している</li><li>④ 人工呼吸器を使用している</li></ol> <ul style="list-style-type: none"><li>・上記を踏まえてモデルケース候補の詳細を支援者より報告いただく。</li></ul>
決定事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・2つのモデルケースを決定する。</li><li>・他にモデルケース候補になる情報があれば事務局へ報告いただき検討する。</li></ul>
今後の動き	

## 議題 3：モデルケースに対する災害時プラン作成の進め方について

議事	<p>事務局より基本の流れ案を提示。参加者よりご意見を得て確定する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 本人・家族に対してモデルケースとして災害時プランを作成することの同意を得る。 アンケート実施機関から本人家族へ打診し、後日アンケート実施機関担当者と保健師、事務局が訪問し書面にて同意を得る。</li><li>② アセスメントの実施（災害発生時の懸念を把握し、対処法について検討） ツールとして高松市健康づくり推進課が試行している様式、在宅人工呼吸器使用災害時個別支援計画をご説明いただく。</li><li>③ 各地域で作成されている「災害時個別支援計画」の様式に沿って、計</li></ol>
----	---

	<p>画案を作成する。</p> <p>④ 案を持って、地域住民を交えてのケア会議を実施し、「災害時個別支援計画」を完成させる。</p> <p>⑤ 本人、家族の同意を得て、ケア会議の参加機関に「災害時個別支援計画」を配布する。</p> <p>⑥ 災害時に避難が必要なケースについては、地域の避難訓練がある際等に実際に避難を体験する。</p>
決定事項	<p>上記の流れで①②実施することで決定する。</p> <p>主対応者はアンケート実施機関担当者とする。</p>
今後の動き	<p>③～⑥については次回災害時ワーキンググループに協議する。</p>